

広野やすよ

ホームページアドレス www.love-choshi.jp

やすよ応援隊事務所
銚子市和田町 12-2
TEL: 0479-21-3008



◆ ごあいさつ

銚子市議会議員になって 2 年半が過ぎました。町内のお子安講や友人との食事会では「人口は少なくなつても楽しくみんなで助け合って暮らせるまちにしたい」とか、「子どもたちが将来帰つてこられるまちにしておきたい」という話題になります。そのためにも、私たち市民一人ひとりが、日頃から市政に関心を持つことが大切だと思っています。私は、銚子で生まれ育った子供たちが、進学や就職などで一旦銚子のまちを離れたとしても、心身共に健全で、どこの町でも強く明るく生きていける人づくりの出来るまちにしていきたい! 「ふるさと銚子が大好き!」と、誰もが言えるまちづくりをしていくことを目指しております。市民の安心・安全を守り、市民の元気を持続させるために是非、市民の皆さんとのさまざまなご意見をお寄せください。

◆ 銚子市議会報告

9月定例議会で一般質問

「子育て支援について」まず質問しました。女性が子育てをしながら働き続けるために、子育て支援策の充実は必要不可欠です。人口流出に歯止めをかけるためにも、市長はどのような施策を実施していくのか? 神栖市との格差は正をどのように考えるのか? と問い合わせたところ、双葉小学校の放課後児童クラブについて、土曜日一日保育の実現などを求めました。市長から、今後の行財政政策を推し進める中で、出来る限り子育てに対する金額を捻出し、施策の充実を図っていく約束を確認しました。次に「防災対策について」です。避難所の運営や備蓄について、また防災対策に高齢者や障がいを持つ方々、女性の意見を取り入れる仕組みがあるのか、と質問しました。防災については、行政と市民が協働して取り組んでいくことが必要とのこと、具体的に市民に防災士の資格取得を市が負担し育成し、将来的には、防災リーダーの中から女性の防災会議委員の登用を考えている。との答弁をいただき、「公助」の中心的な機能である行政が、しっかりと市民の自助、共助と連係し、自の役割を果たすようお願いしました。

12月定例議会、教育民生委員会での質問

補正予算(老人福祉費) 芦崎高齢者いこいセンターの屋根修繕を見送り、修繕が先延ばしになった理由はなぜか? とか、

(生活保護) 医療扶助費の増額幅が大きい理由や、増大する医療扶助費に対する市としての取り組みや対策はどのように行っているのか? を質問しました。

生活保護受給者の方々は、傷病を抱えた方々や、高齢者の方々が多いため医療費が大きくなる傾向は仕方がないことなのですが、医療費を抑えるためにも、健康を維持するための予防法や、健康指導の推進を図っていくことの必要性をお願いしました。

◆ 行政視察報告

8月 30 日県内先進ごみ処理施設視察研修会に参加しました。香取広域町村圏事務組合・第 2 伊地山最終処分場(被覆型)、成田富里いづみ清掃工場(ガス化溶融炉・シャフト式)。10 月 3、4 日には日光クリーンセンター(ガス化溶融炉・酸素式)、ひたちなか市東海クリーンセンター(ストーカー炉)を視察しました。視察先は全て先進施設で、焼却施設外の臭気ではなく、きれいで衛生的な施設でした。各施設共に、処理方式の選定はその地域に合った方式であるということを学び、また、ごみは資源であることを改めて感じ、なるべく家庭でのごみの排出を少なくすることが、できるこの一步だと思います。銚子市の焼却施設は稼働後 26 年経過、老朽化が進み、早急に施設を更新する必要があります。その計画に、今回視察で勉強した考え方を反映させます。銚子・旭・匝瑳広域ごみ焼却施設建設は今後、処理方式の選定や環境アセスメントを行い、平成 32 年からの供用開始を予定しています。



1 月 13 日教育民生委員会では、市内の施設(旧銚子西高校・松籟の丘)を視察しました。旧銚子西高校は、東日本大震災後にいくつかの教室を避難所として整備した後、現在は使用していない施設のためかなり老朽化が進んでおり、体育館は雨漏りで水浸しになっている状況です。旧銚子西高校の建物をどのような形で活用していくのかは、今後の検討課題です。平成 24 年 10 月~旧銚子西高校の跡地に改築された特別養護老人ホーム「松籟の丘」の視察では、入居されている方が、大広間に集まり、テレビ画面を見ながら職員の皆さんと楽しそうに体操をされている場面に伺いました。みんなで一緒に行動することで、入居者の方々が明るく、心身共に健康でいられるのだな。と実感しました。また、四季折々の行事活動などもあり、ボランティアの方々のコミュニケーション力の凄さと、想いに感銘しました。



◆ 決算特別委員会報告

私が委員になっている平成 24 年度決算特別委員会が、11 月 7、8 日に開催されました。主要な施策の成果に対しての主な質問事項は、夜間小児急救診療所関係経費について、どんな病気でかかるか? 夜間診療を開くことによる成果や子どもを持つ親の反応や、声はどうなのか? 宮頸がん等ワクチン予防接種助成経費について、銚子市では接種後の副反応を起こした事例はあるのか? 現在は、積極的勧奨を差し控えるようになっているが、市としては、どのような方針で指導しているのか? と言ったことでした。国民健康保険事業については、平成 22 年~24 年わずかだが、収納率が上がっているのは職員の努力の成果が表れていると思われるが、今まで収納対策をどのようにしてきたのか? また今後、収納率を上げるためにどのようにしていくのか? 等を各課に亘り質問をしました。決算特別委員会は、平成 24 年度の主要な施策の成果を振り返り、内容を承認し、市民生活にどのように役立っているのかを確認し、来年度につなぐ大切な委員会でした。

◆ 日常活動報告

子育て応援ボランティアクリエイションの開催する「子育てひろば」(毎月第 2・第 3 月曜日 10:00~12:00 銚子商工川口商店街 3F) に子育てサポーターとして参加。その他にも市内小学校の運動会、バザー等の一時預かり保育、あぐりレディースセミナーの託児ボランティアに協力しています。自主防災活動としては銚子市機能別消防団に所属、9 月 14 日九都市県市合同防災訓練などに参加しました。12 月 21、22 日千葉科学大学で開催された「防災士養成研修講座」を受講しました。



◆ やすよのつぶやき◆

平成 25 年 12 月議会が閉会した翌日から、機能別消防団女性隊の仲間と共に、千葉科学大学で「防災士養成研修講座」を受講し、防災士の資格取得に挑みました。21・22 日の 2 日間、千葉科学大学の学部長を始めとする教授陣の授業をみっちりと受け、緊張した面持ちで試験を受けました。試験終了後、みんなで「避難場所のマークは 1 番でよかったのかなー?」「1 番と書いたけど、見直したとき 3 番にしちゃった・・・」とか、「トリアージの優先度緊急は赤! だよね」等と、過去の学生時代を思い出させる様な場面でした。誰もが師走の慌ただしい中、このような 2 日間の非日常を経験できたことに感謝です。晴れて資格習得した後は、仲間と共に、防災備蓄食品の試食会など、小さな一步でも出来ることから始めてみよう!と考えています。